

第4学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日 時 平成15年9月2日（火）5校時
児 童 水沢市立佐倉河小学校4年2組
男16名 女11名 計27名
指導者 菊池久子

1 題材名 「学級チャレンジ集会をしよう」

2 題材について

(1) 題材観

学級活動については、学習指導要領で「学級を単位として、学級生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと」となっており、さらに具体的内容として、次の2つが示されている。

- | |
|---|
| (1) 学級や学校の生活の充実や向上に関すること
学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の仕事の分担処理など |
| (2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること
希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、学校図書館の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成など |

また、学級活動のねらいを達成するため、児童は次のような活動形態の下に実践活動を展開することになる。(ア)話し合い活動(イ)係の活動(ウ)集会の活動の3つがそれにあたる。(ウ)の集会活動は、学級生活を一層楽しく充実、向上させるために、学級の全児童が集まって行う活動である。集会には誕生会、スポーツ集会、発表会など様々な内容が考えられるが、児童が話し合って創意工夫し、自主的に運営するため、発達段階に応じて適切に指導することが望まれる。

本題材では、本校で行われているチャレンジ集会を学級でもやってみようというこゝとで取り組んでいく。チャレンジ集会の内容を計画、実践することを通して、みんなが楽しめるものにしようと考えを出し合ったり、協力して準備したりすることによって、仲間意識を育むことをねらいとして設定した。また、来年は5年生になり全校のチャレンジ集会の企画、運営にも携わっていくため、経験を積ませるということも意図して本題材を設定した。

(2) 児童観

学級活動における本学級の児童の実態は、決められたことに関して、きちんと取り組もうとする児童が多い。しかし、自分たちで創意工夫して活動しようとする児童が多いとは言えない。

話し合い活動については、間違いや批判されることを恐れて意見をもちながらも発表ができない児童が多かったが、様々な学級活動を通して話し合い活動を重ねるうちに前向きに話し合いに参加する児童が増えている。1学期には「1学期のまとめの会をしよう」という話し合いをし、「悪口を言わないように。意地悪をしないように」というめあてを決めて、そのめあてを達成し、1学期のお楽しみ会を行った。めあてを達成したら、お楽しみ会をすると決めて、計画的に取り組んだのは初めてだったので、話し合いもまとまらないことがあったり、めあてを達成できたかどうかの判断が難しかったりと課題も多かったが、自分たちの学級目標に一步近づいたと言う達成感をもったようである。

全校のチャレンジ集会については、児童会が企画し、5、6年生が準備を進めて行っている活動である。今年度も1学期に行われ、全部の種目に挑戦したいと意欲的に取り組んだ児童が多かった。また、今までの経験を生かして、どの種目からまわるかを考えたり、失敗をしないように慎重に取り組んだりする姿が見られた。来年から自分たちが企画や運営に携わっていくということもあり、準備をしたり、下学年の世話をしながら活動を行ったりすることを楽しみにしている児童がたくさんいる。そのため、学級のチャレンジ集会にも意欲的に取り組むことが予想される。4年生ということもあり、話し合い活動の経験がまだ少ないため、話し合いをまとめる技術に関する指導が必要である。また、視点に沿って話し合いをしたり、学級全体のことを考えた建設的な意見を出し合ったりできるように指導をする必要がある。

(3) 指導観

指導にあたっては、学級チャレンジ集会への意欲をもたせ、具体的なイメージをもって意見をもてるようにさせたい。そのために全校チャレンジ集会を想起させたり、自分たちで新種目を考えさせたりしながら学級会ノートに記入する時間を確保する。場所や時間の条件や全員が楽しめる種目、自分たちで準備できる種目、という視点をもって意見を考えられるようにしておく。

本時の話し合い活動では、それぞれから出された意見の中から学級チャレンジ集の種目をしぼっていく。どの種目にしてはいけないということはないため、反対意見から種目をしぼることが難しく、どの種目にするか決めかねることが予想されるので、だれでも勝つ可能性がある種目であることや自分たちで判断や審判がしやすい種目であるといった視点を与え、話し合いの焦点化を図りたい。また、座席表を活用しながら意見の変容があった児童の意見を拾い上げ、児童の考えを掘り起こしていきたい。

事後の活動においては、話し合いの結果をもとに係ごとの計画を立てさせ、実践化を図る。学級全員が協力して企画、運営し、楽しんで活動することによって達成感をもたせ、学級が向上できるようにしていきたい。

3 指導の目標と関連

特別活動

○学校重点目標

- 自分の考えや意見を持ち、話し合いによって集団の規則を高めようとする子ども
- 広い心で他の考えを受け止め、よりよい人間関係を築き上げようとする子ども
- 基本的な生活習慣を守り、他と協力して、自主的に活動する子ども

学級活動（学校重点）

- 学級を単位として学級生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を行う。

学級活動（学級重点）

- それぞれの目標やめあてに向かって取り組む姿勢を大切に、適宜反省や評価を行う
- 自分の思っていることをはっきりと言葉で伝えられるような学級の雰囲気作りに努める。

題材のねらい

- 学級チャレンジ集会の準備、計画、実践を通して、お互いのがんばりを認め合い、学級としてのまとまりが深められるように協力して活動することができる。
- 話し合い活動を通して、視点を持って話し合い、他の意見との関連を考えながら自分の考えをもつことができる。

○学級目標

- 最後まで真剣に取り組む4年2組
- 仲良く助け合う4年2組

4 指導計画と評価

(1) 指導計画

月 日	時間	参加児童	主な活動内容	教師の支援
7月25日(金)	学級活動	全員	○1学期のお楽しみ会を思い出し、2学期はじめの活動に関心をもつ。	◎1学期の活動では、みんなで力を合わせてお楽しみ会を実施したことを思い出し、2学期は今までにやったことのないような活動を考えさせ、意欲化を図る。
8月21日(木)	帰りの会	全員	○2学期はじめの活動について議題カードに書き、議題を出し合う。	◎今までにやったことのない内容で、みんなが楽しめる活動について考えさせる。 ◎場所や時間についても視点を与える。
8月22日(金)	放課後	計画委員	○2学期のはじめの活動にふさわしい議題を選ぶ。(学級チャレンジ集会上に決定)	◎みんなが楽しめる活動で、全員で計画、準備、実施できるような活動を選ぶ。
8月26日(火)	放課後	計画委員	○話し合いの計画を立て、話し合いの準備をする。	◎学級チャレンジ集会上について提案できるように準備をさせる。
8月27日(水)	学級活動	全員	○計画委員の提案に沿って学級会ノートに自分のめあてや意見を書く。	◎全校でのチャレンジ集会上の種目から選んだり、新しい種目を考えさせ、活動に対する意欲をもたせる。 ◎みんなが楽しむことができ、全員で準備、実施できるものという視点を与える。
9月 1日(月)	放課後	計画委員	○話し合い活動の進め方の打ち合わせをする。	◎マニュアルを準備し、児童が安心して活動できるようにする。
9月 2日(火)	学級活動	全員	○学級チャレンジ集会上の種目について話し合う。	◎みんなが勝つ可能性があり、ゲームの判断や審判がわかりやすいものという視点を与える。 ◎いろいろな視点から意見を出せるように助言する。
9月 8日(月)	帰りの会	全員	○学級チャレンジ集会上の係や準備について話し合う	◎全員で準備をし、成功させるという意識をもたせる。
9月 9日(火)	休み時間	全員	○計画に基づいて準備を行う。	◎自主的、自発的に準備をしている姿を認め、広げていく。
9月16日(火)				
9月17日(水)	学級活動	全員	○学級チャレンジ集会上を行う。	◎協力して活動できたグループを賞賛し、広げていく。 ◎最後の片付けまで自分たちの手でやるように声がけをしていく。
9月19日(木)	朝の会	全員	○活動の振り返りをする。	◎学級全体の頑張りを賞賛し、次回の学級活動への意欲をもたせる。

(2) 評価

- ・学級チャレンジ集会上の準備、計画、実践を通して、お互いのがんばりを認め合い、学級としてのまとまりが深められるように協力して活動できたか。
- ・話し合い活動を通して、視点をもって話し合い、他の意見との関連を考えながら、自分の考えをもつことができたか。

5 本時の指導

(1) ねらい

○学級チャレンジ集会の種目について、選ぶ視点を意識して意見を出すことができる。

(2) 展開

	活動内容	児童の活動	教師の支援・評価
導入 5分	1 はじめの言葉	・計画委員の合図であいさつをする。	・各自の提案を明確にするために紙板書を準備しておく。
	2 議題の確認	・計画委員が議題の確認をする。	・計画委員に準備をさせ、全員が確認できるようにする。
	3 提案理由の説明	・計画委員が提案理由を説明する。	
	4 話し合いの進め方の確認	・計画委員が話し合いの順序を知らせる。	・時間の目安も知らせ、見通しを持ち話し合いをさせたい。
	5 話し合い		
展開 33分	(1) 各自の提案	<p>出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が自分がやりたい種目や自分が考えた種目について発表する。 ・風船割・宝探し ・コイン回し・鉛筆立て 	・発表者が紙板書を貼るときに、同じ意見を整理して貼るよう助言する。
	(2) 質問を取る	<p>分かり合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない種目について質問し、提案された全種目について具体的にイメージをする。 	・必要に応じてメモを取らせる。 ・提案の不十分な点、不明確な点について質問を出すように助言する。
	(3) 意見を取る	<p>比べ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の意見に賛成意見、反対意見を出し合う。 <p>《選ぶ視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所や時間の条件に合うから ・全員が楽しめるから ・自分たちで準備できるから ・誰でも勝つ可能性があるから ・自分たちで判断や審判ができるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成か反対かの立場を明確にし、その理由も発表させる。 ・いろいろな(今までに与えた)視点から考えられるように助言をする。 <p>(評価)</p> <p>○選ぶ視点を意識して意見を出すことができたか。</p>
	(4) 種目を決定する	<p>まとめ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点をもとに種目を決定する 	・視点を拾い上げたり与えたりしながらよい考えに気づかせ、まとめ合いができるようにする。
終末 7分	6 決まったことの発表	・ノート書記が発表する。	・決まったことだけでなく、発表をがんばっていた人なども発表させる。
	7 先生から	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに自分の感想、評価反省を記入する。 ・感想を発表する。 ・教師の話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてや話し合いの態度などについて振り返らせる。 <p>・話し合いの態度や内容、議長や書記の仕事ぶりなどについてふれ、成就感をもたせる。</p> <p>・これからの計画についても知らせ実践の意欲をもてるようにする。</p>
	8 おわりの言葉	・計画委員の合図であいさつをする。	

(3) 評価

学級チャレンジ集会の種目について、選ぶ視点を意識して意見を出すことができる。 (発言の様子、学級会ノート)		
十分満足できる	おおむね満足できる	努力が必要
いろいろな視点から考えたり 数多く意見を出したりしてい る。	選ぶ視点を意識して意見を出 すことができる。	選ぶ視点を意識して意見を出 すことができない。
↓	↓	↓
発言のよさをもとめる。	いろいろな視点から考えられ るように支援をする。	視点を意識して発表できるよ う支援をする。

学級活動ノート

9月2日 第9回 名前 _____

① ^ぎ議題 学級チャレンジ集会をしよう

② ^{ていあん}提案理由 2学期最初の活動としてチャレンジ集会をしたいという意見が「タタカ」たから

③ 自分のめあて

④ 発表したいと思うこと・したこと

発表したいと思うことは、話し合う前に書いておこうね!

⑤ よくできたら○ まあまあだったら○ うまうまなかったら△をつけよう。

	①自分の意見を発表できましたか。
	②賛成・反対の気持ちが表せましたか。
	③司会の人や発表している人のことをよく聞けましたか。
	④提案理由のことを考えながらできましたか。

⑥ 今日決まったことでこれから自分のすることがあったら書いておきましょう。

⑦ 今日の学級活動についての感想を書きましょう。